

(再評価)

資 料 4

令和5年度第1回  
関東地方整備局  
事業評価監視委員会

# 一括審議案件資料

## 1. 一般国道51号 潮来バイパス

令和5年8月1日

国土交通省 関東地方整備局

# 令和5(2023)年度 第1回 事業評価監視委員会 一括審議案件一覧

事業区分	事業名	再評価理由 ※1	事業採択	前回評価	全体事業費 (億円)	完成予定年度 ※2	B/C	前回評価からの主な変更点 及び理由	再評価の視点	関係自治体の意見	前回評価時の付帯 意見及び対応	対応 方針 (原案)
道路	1 一般国道51号 潮来バイパス	④	H17	H30	31	R9	1.3	<p>前回評価から事業期間に変更はあるが、事業全体に顕著な変化は生じていない。</p>	<p>本事業は、交通渋滞の緩和、安全性の確保、地域産業の支援などの観点から、事業の必要性・重要性は高く、早期の効果発現を図ることが妥当と考えます。</p>	<p>(茨城県知事の意見) 一般国道51号潮来バイパスは、潮来市内の交通渋滞の緩和、安全性の確保とともに重点港湾である鹿島港や東関東水戸線潮来ICへのアクセス向上による物流機能の強化及び地域産業の発展に大きく寄与することなどから、本事業の必要性は高く、事業を継続することは妥当と考える。 なお、早期完成に向けて、事業を推進するとともに、徹底したコスト縮減を図るようお願いしたい。</p>	なし	継続

※1 再評価理由

- ①: 事業採択後3年間の経過した時点で未着工の事業
- ②: 事業採択後5年間の経過した時点で継続中の事業
- ③: 準備・計画段階で3年間の経過している事業
- ④: 再評価実施後5年間の経過している事業
- ⑤: 社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業

※2 費用便益比算定上設定した完成予定年度等。

# (1)一般国道51号 潮来バイパス

## 1. 目的

- ・交通渋滞の緩和
- ・安全性の確保
- ・地域産業の支援

## 2. 事業概要

区間: 自) 茨城県潮来市小泉  
 至) 茨城県潮来市延方西

計画延長・幅員: 1.2km・60m

車線数: 4車線

計画交通量: 19,900台/日

事業化: 平成17年度

全体事業費: (前回)約31億円 (今回):約31億円

## 3. 事業の進捗状況等

- ・平成14年度に県道区間1.3kmが4車線開通。
  - ・当該事業の用地取得率は約99%(R5.3末)。
  - ・事業区間全体で工事を推進中。
- ※社会情勢等について大きな変化は見られない

## 4. 事業の効果等

- ・現道区間の交通が潮来バイパスに転換され、現道区間の交通渋滞の緩和や交通事故の減少が期待される。
- ・鹿島臨海工業地帯や鹿島港へのアクセスが向上し、地域産業の物流効率化が期待される。

## 5. 事業の投資効率性

【事業全体】		【残事業】
(前回)	(今回)	(今回)
総便益B: 約58億円	約70億円	B:約70億円
総費用C: 約43億円	約54億円	C:約10億円
B/C = 1.4	B/C = 1.3	B/C = 7.1

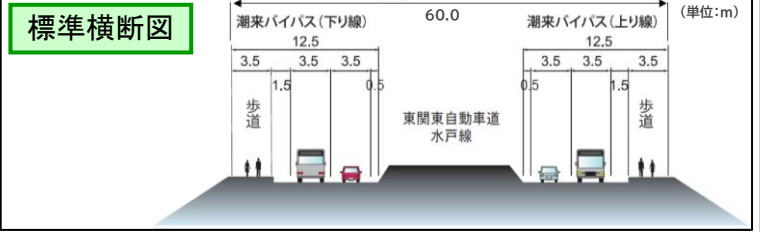
## 6. 概要図



### 位置図



### 標準横断面図



## 7. 対応方針(原案)

- ・事業継続とする。
- ・本事業は、交通渋滞の緩和、安全性の確保、地域産業の支援などの観点から事業の必要性・重要性は高く、早期の効果発現を図ることが妥当と考える。